

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和62年～		
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	04 施設の整備・充実、指導者の育成、文化活動の推進
	事務事業名	05	吉永地域公民館管理運営事業
根拠法令・例規等	社会教育法第20条 備前市立公民館設置条例 備前市立吉永地域公民館使用料条例		
問	担当課(室)	吉永地域公民館	
合	職・氏名	主査 光友公昭	
先	電話	84-3839	
このシート作成に要した時間			1.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内在住者、市内事業所に勤務している人及び公民館を利用している人
目的(何のために)	生涯学習・文化活動の拠点とし、市民のニーズに対応するための学習の機会と場所の提供を行うため、施設の保守維持管理を行うとともに、幅広い世代を対象とした講座等を開催し、住民の教養及び情操教育の向上に努め、その知識を活用した新たな自主活動グループを開設する指導者の育成を目指す。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	生涯学習・文化活動の拠点とし、場所の提供を行うため、施設の保守維持管理及び講座生増加・指導者育成

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	吉永地域公民館管理運営事業	施設の運営・維持管理・貸館業務	
	市民講座	生涯学習・文化活動の地域拠点として、講座を企画・運営 市民に学習の機会を提供する	
	文化祭	吉永文化祭の企画・運営	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		8,527	14,601	9,873	
	必要人員(人件費)	千円	1.39人	10,783	1.71人	14,191
	事業費計		19,310	28,792	21,417	
	国県支出金					
	受益者負担		681	614	364	
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源		18,629	28,178	21,053		
受益者負担比率	%	3.5%	2.1%	1.7%		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	結果指標量	事業	17,340	15,603	13,544	
	対前年比	%	90.0%	86.8%		
	活動コスト	円	19,310,000	28,792,000	21,947,000	
	単位当たりコスト		1,114	1,845	1,620	

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	20,000	20,000	18,000	15,000
吉永地域公民館総利用者数		実績値(B)	17,340	15,603	13,544	到達目標値
		達成率(B/A)	86.70%	78.02%	75.24%	15,000

成果指標設定の考え方・式や説明

吉永地域公民館の利用者数

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

事業の目的やその数値目標を留意しながら有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	現在の活動グループの利用者がほとんど高齢であるため、新規主催講座を開設し、新たな公民館利用者を開拓していく					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
中央公民館、日生地域公民館と協議しながら、地域の人々(幼児から高齢者まで)が参加できる事業を開催していく必要がある。また、受益者負担についても、3館それぞれ地域の実情を勘案しながら、統一していく必要がある。	評価区分 <A~E>	C
	妥当性 有効性 効率性	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	受益者負担を見直しながら、地域づくりの拠点となるよう検討していく。					